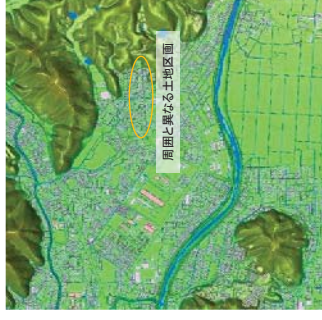


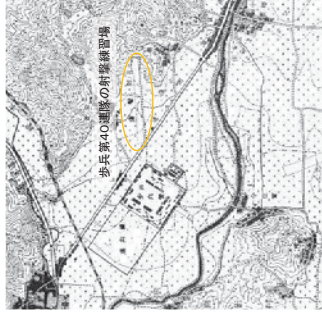
# あおば地区の 歴史発見！

鳥取県埋蔵文化財センター 田中 正利

今と昔の地図を比べてみると・・・



国土地理院基礎地図情報を利用して作成



陸地測量部2万分の1地形図「鳥取市」(昭和6年)を使用

## 歩兵第40連隊

- 旧鳥取藩主池田氏の協力を得て、土地を旧陸軍に献納して誘致。
- 明治29年に設立し、兵営や射撃場などは翌30年に、練兵場は31年に完成。
- 兵営部分は鳥取大学などに利用され、現在も設立当時の建物が残っている。

## 第40連隊 兵舎(明治30年)



鳥取県教育委員会1999『鳥取県の近代化遺産』から引用

## 昔にさかのぼってみると(1) 弥生時代



国土地理院基盤地図情報を利用して作成

## 昔にさかのぼってみると(2) 古墳時代

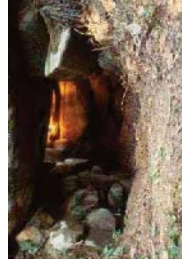


国土地理院基盤地図情報を利用して作成

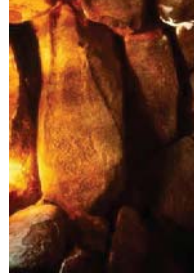
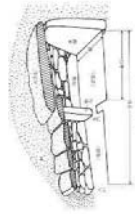
- 前方後円墳がつくられるようになるのは古墳時代の終わり頃からで、規模が小さい。
- 石室の壁面に線刻の壁画が描かれた古墳がある。

## 鷺山古墳 — 線刻壁画のある石室 —

時代：古墳時代の終わり頃(6世紀後半)  
墳形：円墳



石室入口



魚



舟



石室構造図

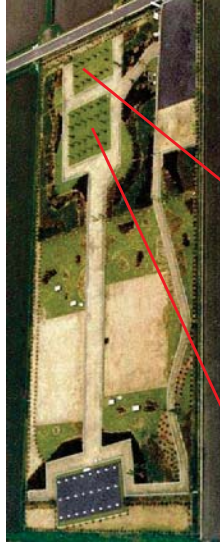
## 昔にさかのぼってみると(3) 奈良～平安時代



国土地理院基盤地図情報を利用して作成

- 因幡国府が置かれる。
- 国府には、政治や儀式を行う政庁や、役人の館、市場などがあったと考えられる。
- 発掘調査では、平安時代から鎌倉時代の庭園の一部が見つかっている。

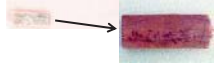
## 因幡国庁跡



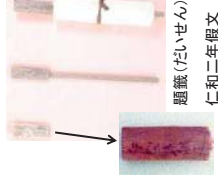
正殿跡



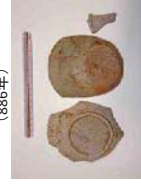
柱 (太さ37cm)



緑釉陶器



題籤 (たいせせん)  
仁和二年假文  
(886年)



土器 (新小「南殿」)

※発掘調査した遺構は  
平安時代～鎌倉時代

## 全国でも珍しい庭園遺構

田んぼの中にぼつんと残る岩  
(弁天島と呼ばれる)

平安時代末～鎌倉時代につくられた池の  
中島であることが判明。  
国司館が存在か。



発掘された庭園遺構



平城宮東院の復元された庭園

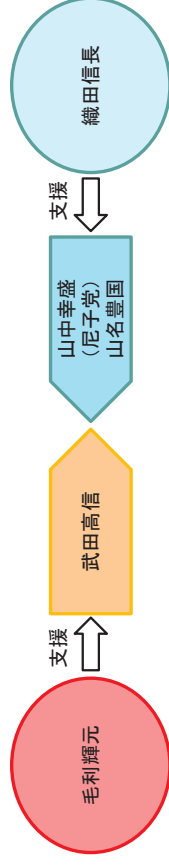
## 昔にさかのぼってみると(4) 鎌倉時代～室町時代



国土地理院基盤地図情報を利用して作成

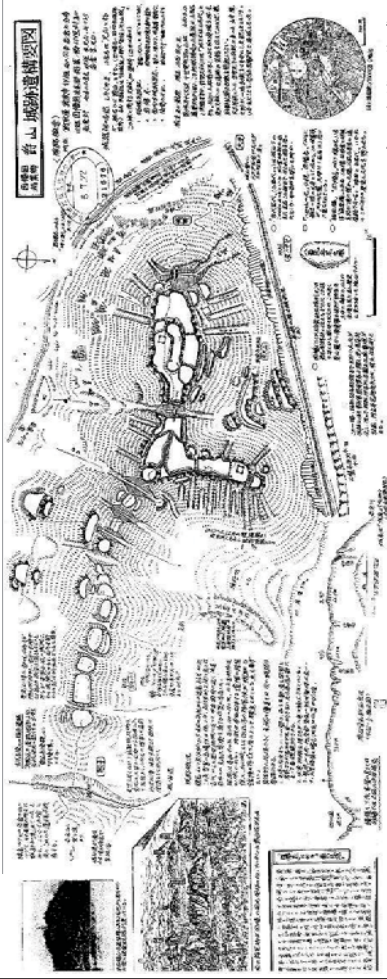
## あおば地区周辺の中世 「たのも崩れ」の舞台(「因幡民談記」など)

- 天正元年八月に、鳥取城の武田高信が鱷山城に籠もる山中(鹿之助)幸盛率いる尼子党を攻めるも、敗退した戦い。
- 高信は岩倉から卯垣を経て鳥取城へ退却するが、追撃に遭い、鳥取城を明け渡すことになる。



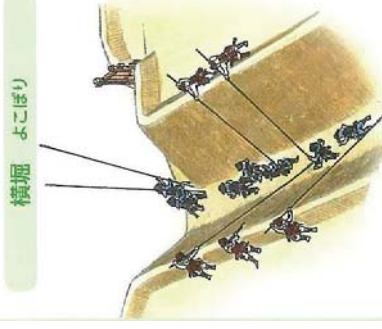
# 爵山(しゃくやま)城跡

—中世の山城の様子をよく残す城跡—



吉田 浅雄氏作成

# 中世の山城とは・・・



横堀 よこほり

縦堀 たてほり

# 爵山城跡の防御施設

